

平成19年1月12日

[資料提供]

(問い合わせ先)

総務部次長 泉谷 内線：2105 直通：6944-6012
総務部 人事室 播本 内線：2121 直通：6944-6077
公立大学法人大阪府立大学 総務部総務課 神本 代表：072-252-1161 内線：2103、2106 直通：072-254-9103

目的・性格が明確でない現金等の調査結果について

このたび、本府及び地方独立行政法人である大学、病院において、目的・性格が明確でない現金等が発見されたことを受け、府議会「不適正会計調査特別委員会」及び外部有識者による「不適正な会計処理に関する調査委員会」における意見・指摘を踏まえ、再度、昨年末から改めて全庁における徹底調査を実施しました。その結果につきまして、お知らせいたします。

目的・性格が明確でない現金等の調査結果について（平成19年1月12日現在）

1 経緯

- ・ 匿名の投書をもとに、昨年11月、32の出先機関を調査した結果、南河内府税事務所において平成9年度以前の不適正な会計事務処理による現金の保管が判明した。
- ・ このため、12月に本庁及び出先機関の全所属を対象に、平成10年度以降、目的・性格が明確でない現金等（以下「現金等」という。）が職場で保管や使用されていないか、府が補助金等を支出している協議会、職員の親睦会等に「現金等」がないか調査を行った。その結果、12月25日時点では19所属において、「現金等」の保管等が判明した。
- ・ その後、府議会「不適正会計調査特別委員会」や外部有識者による「不適正な会計処理に関する調査委員会」における意見・指摘を踏まえ、再度、昨年末から本日までにかけて調査を行った。

2 調査内容

(1) 調査対象機関

知事部局の全課（室・所）、水道部、議会事務局、教育委員会事務局、監査委員事務局、人事委員会事務局、労働委員会事務局、収用委員会事務局、海区漁業調整委員会事務局、府立学校

〔計362所属（課（室・所））〕

〔協議会等 228団体〕

〔親睦会 630団体〕（※前回調査時（12月19日指示）にチェックした親睦会の数はグループ単位の数人規模の親睦会も含め、946であった。親睦会を利用した不適正な事務処理事案を踏まえ、今回、所属単位の親睦会（630）についての徹底した調査を実施。）

(2) 調査方法

- ① 本府が補助金、負担金等を支出している団体で、各所管課において事務局を担当している協議会、実行委員会等において、平成10年度以降、団体の活動状況等に照らして、不自然な出入金がないか
 - ② 親睦会において、平成10年度以降、会の活動状況等に照らして、不自然な出入金がないか
 - ③ 所属において、目的・性格が明確でない現金等が保管等されていないか
- ・ ①、②については、第3者（出先機関分⇒本庁所管課長、事業課分⇒部総務課長、部総務課長⇒部次長）が出納簿等と通帳の突合等を行い、当該確認者が押印の上、確認票を提出。
 - ・ ③については、調査を適切に実施した旨、所属長が署名・押印の上、報告票を提出。

なお、地方独立行政法人においても同様の調査を行った。

3 調査結果

今回の調査結果を集約すると以下のとおりである。

なお、金額については、今後の調査によって変動する場合がある。

◆前回までの調査に今回判明した結果を加えたもの

	保管等して いた所属数	平成19年1月 現在の残額	平成10年4月以降使 用した金額	合 計
本府	16 (1)	約2,390万円 (約 20万円)	約1,650万円 (約 480万円)	約4,040万円 (約 500万円)
地方独立行政法人	5 (1)	約 960万円 (約 300万円)	約 670万円	約1,630万円 (約 300万円)
計	21 (2)	約3,350万円 (約 320万円)	約2,320万円 (約 480万円)	約5,670万円 (約 800万円)

() 内は12月25日の結果発表以降、判明した分で内数。

今回新たに判明した所属の概要は以下のとおりであり、この他の所属では、「現金等」の保管等及び協議会等において不自然な出入金はなかった。(※なお、一部所属で銀行への口座取引記録照会中のところあり)

◆新たに保管・使用が判明した所属

所属名	概 要
健康福祉部 守口保健所	◆平成10年度当初、出納簿上約58万円が普通預金、定期預金及び現金で保管され、現在まで使用されている。(約40万円) 用途はタクシー代、会議茶菓代。
公立大学法人 大阪府立大学羽曳野 キャンパス総合事務 センター	◆平成9年度以前の不適正会計によるものと思われる現金(通帳)が平成17年6月に発見されたが、現在まで放置。また、今回の調査でビール券及び図書券が平成18年12月15日に発見されたが、報告されていなかった。総額約300万円。平成10年度以降、使用実績なし。

※判明に至った経緯については、別紙個票のとおり。

◆保管・使用の金額が増加した所属(照会中であった銀行への口座取引記録により確認)

所属名	概 要
健康福祉部 池田保健所	◆使用額を約36万円⇒約55万円に訂正。
環境農林水産部 流通対策室	◆使用額を約208万円⇒約632万円に訂正。

4 今後の対応

人事課に設置した専任の調査チームを中心として、調査の取りまとめや再発防止策の検討等をすすめる。

外部の専門家からなる「不適正な会計処理に関する調査委員会」において、調査結果の検証と再発防止策について、1月末を目途に提言をいただく。

関係者の処分については、上記の調査結果を踏まえ、厳正に対処する。

目的・性格が明確でない現金等の調査結果総括表

(※金額は今後の調査により変動することがある)

平成19年1月12日現在

所属名	平成19年1月現在の残額①		平成10年4月以降 使用した金額②	合計(①+②)	事実の概要
	残額	種別			
1 健康福祉部 守口保健所	165,373	預金 現金	417,734	583,107	◆平成10年度当初、出納簿上約58万円が普通預金、定期預金及び現金で保管され、現在まで使用されている。使途はタクシー代、会議茶代等。◆平成10年度は「幹部会の現金も入っている」と担当者(企画調整課長)から聞いたため、当該現金等については、「幹部会の現金」と位置づけられた。◆平成10年度は「出所不明な現金等はない」との回答。◆平成10年度担当者にも確認したが、「いずれからも「出所不明な現金等はない」との回答。◆平成10年度は「幹部会の現金」が「幹部会の現金か」前任次長に確認したところ、「幹部会の現金は入っていない」と判断した。
2 新 公立大学法人 羽曳野キャンパス 大阪府立大学 羽曳野センター バス総合事務センター	3,002,135	預金 ビール券 図書券	使用なし	3,002,135	◆平成9年度以前の不適正会計によるものと思われる現金(通帳)、ビール券及び図書券が発見されていた旨、平成10年1月5日に報告された。◆本件運賃は、平成10年6月に発見されたが、センター長は不適正会計処理によるものと疑いつつ詳細な調査を行わず、処理を遂行してそのまま放置。今回の12月7日の調査指示では、一旦は該当ナシと報告。また、12月15日にはビール券及び図書券が新たに発見されたが通帳と同様に報告されなかった。◆平成10年度の署名捺印による最終確認に至り、これ以上は放置できないと判断し、報告。◆平成10年度以降の使用実績はない。
3 額が増加 健康福祉部 池田保健所	1,156,197	預金	552,381 (H9以前の使用あり)	1,708,578	◆平成9年度以前の不適正会計処理及び「豊能保健医療推進協議会」経費の未精算金(～11年度)が預金口座に約171万円保管され、平成10年度～15年度にかけて約555万円が使用された。(12月25日公表時には、約36万円の使用あり。◆平成9年度に34,650円の現金あり。◆金額に差異が生じたのは、現金口座の名称変更が行われた平成12年6月以前の「医療協議会口座(池田銀行)」の取引記録の照会により平成12年度に3件、約19万円の支出が新たに判明したため。
4 環境農林水産部 流通対策室	15,957	現金	6,315,828	6,331,785	◆平成9年度以前の不適正会計処理により捻出した現金を今回取引記録照会していた「流会」名義の口座で保管。◆平成10年2月時点で、6,331,785円が保管されており、平成11年12月1日に口座が解約された時点で5,857,810円の残高があった。(H18.12.29りそな銀行からの回答により確認)◆以降、室内無線LAN、書籍、カメラ購入等に使用されていた。◆金額に差異が生じたのは、「流会」名義の取引記録により残高が確認されたため。
5 政策企画部 企画室	500,000	ホテル利用券	使用なし	500,000	◆平成9年度の全庁調査時、職場の金庫内にホテル利用券50万円が存在したものの、調査対象であった平成6年度から9年度の公費で購入したものではないと判断し、処理せずそのまま保管。今回の調査において発見され、平成8年度以前の向らかの預かり金が、府からの依頼により、平成9年1月にホテルから利用券として返還されたものと判明。
6 総務部 南河内府務事務所	1,021,928	現金	(職員個人の一時流用あり)	1,021,928	◆平成10年度以降、約100万円の現金を保管、歴代総務課長等に引き継ぎ、現在に至った。(※なお、平成15年度において総務課長が100万円を一時自分の口座に入金。)
7 健康福祉部地域保健福祉室 健康づくり感染症課	49,264	現金	使用なし	49,264	◆現金49,264円が課内の金庫から確認された。現金は、ビニール製のキャリーボックスの中に、昭和52年の日付のある封筒や当時の在職者名入りの封筒等に入った状態で確認されており、昭和50年代からの現金と思われる。
8 健康福祉部医務・福祉指導室 医療対策課	2,886,718	預金	使用なし	2,886,718	◆平成10年度以降、現金及び預金(約289万円)が、使用されることなく引き継がれ、平成14年度及び平成15年度に2つの預金口座に入金され、現在に至ったもの。◆現金のうち260万円は幹部会口座で保管されていた。なお、課名義の口座には、別団体名義の口座から現金が入金されており、この現金は当該団体に返還すべきものと判明。
9 健康福祉部障害保健福祉室 計画推進課	1,701,926	預金	(親睦会に入金・保管)	1,701,926	◆障害保健福祉室が会計を担当する「みんなのでやさいまちづくり」大阪府民会議(すべのの人にやさしいまちづくり)に取組む気運を盛り上げるため平成4年に設立された任意団体：平成14年度以降活動実績なし)の預金口座の現金を、平成17年3月10日に障害保健福祉室の2つの親睦会名義の預金口座に入金した。
10 健康福祉部 八尾保健所	0		2,262,244	2,262,244	◆平成10年度以降、約226万円が現金や預金2口座で保管され、平成15年度までに全額が使用された。使途は所の補修や会議費代等。

所属名	平成19年1月現在の残額①		平成10年4月以降 使用した金額②	合計(①+②)	事業の概要
	残額	種別			
11 健康福祉部 公衆衛生研究所	7,000,009	現金	876,250	7,876,259	◆平成9年度以前の不適正会計処理によると思われる現金 約700万円が確認されるところにも、平成10年度以降平成17年度までの間において現金 約88万円の使用が確認された。
12 商工労働部 産業開発研究所	1,324,471	預金	267,652	1,592,123	◆平成10年度以降、約160万円を歴代の総務課長及び総務担当部長が引き継ぎ、口座で保管し、現在に至るまで、平成10年度～平成14年度において、慶弔費、講師との懇談会飲食代等に使用。平成15年度以降は使用なし。
13 商工労働部 産業技術総合研究所	140,000	タクシー金券	3,882,480 + 約1万円	約400万円	◆平成10年度以降、約400万円を前任者から通帳及び現金で引き継ぎ、平成14年度～平成15年度にかけて使用、現在に至った。用途は、研究用ファイナメント・消耗品の購入等。(なお、使用したうち14万円は、タクシー金券として残っている)
14 商工労働部 東大阪高等職業技術専門学校	約55万円	預金	約25万円	831,694	◆平成15年度当時の調整総括主査(H18.4.30退職)は、831,694円を前任者から総務課長名義の預金通帳で引き継ぎ、枚の消耗品、生徒のお茶代等にあてるところにも、その一部を個人の生活費に使用。残額(約55万円)については、最終的に当時の調整総括主査である個人の預金通帳へ入金した。
15 環境農林水産部 中部農と緑の総合事務所	119,625	現金	143,205 (H9以前の使用あり)	262,830	◆平成10年度以降、262,830円を現金又は口座で保管。うち143,205円を高遠道路通行券等で使用。(※平成9年度に別添110,213円の使用あり。)
16 教育委員会事務局 市町村教育室 地域教育振興課	5,012,124	預金 現金 商品券	使用なし	5,012,124	◆平成10年度以降、約500万円が普通預金、現金、商品券で保管され現在に至った。平成12年5月以降は使用されていない。
17 教育委員会事務局 財務課	2,188,000	預金	98,550 + 約150万円	約380万円	◆平成10年度以降、340～380万円が普通預金又は現金で保管されていたとの供述があり、別の職員からは、そのうち約160万円を平成10～11年度に課の懇親会等で使用したとの供述があった。なお、平成10～11年度に職員による一時流用があった。
18 公立大学法人 大阪府立大学 学術情報課	1,741,145	預金	使用なし (H9以前の使用あり)	1,741,145	◆平成9年度時点で発見されなかった通帳が、今回の大阪府及び大学法人における金庫内の一斉点検の結果、発見された。(約176万円) 平成10年度以降の使用実績はなし。(※平成8年度に19,236円の使用あり)
19 地方独立行政法人大阪府立 病院機構 大阪府立精神医療センター	4,838,504	預金	使用なし	4,838,504	◆平成8年度以前の不適正会計処理による現金(4,838,504円)が、府に返還されず、銀行口座に預金されていた。この預金については、平成9年度の総務課長の判断により残され、現在に至るまで引き継がれてきた。平成9年度以降は、使用されていない。
20 地方独立行政法人大阪府立 病院機構 大阪府立成人病センター	25,994	現金	約167万円	約170万円	◆事務局金庫内の小封筒から、現金25,994円を発見。関係者への聞き取り調査の結果、平成8年度以前の不適正な会計処理によって生み出されたものと推測。その総額は平成10年度当初に約170万円が存在したとの供述があり、歴代担当者に引き継がれ使用されてきたと推定される。
21 地方独立行政法人大阪府立 病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター	0		(約500万円)	(約500万円)	◆平成13年11月に病院名義の銀行内貸金庫に約500万円の現金を保管したとの供述が、2人の職員からあった。平成18年12月19日に当該貸金庫を調べたが、現金は発見されなかった。総務等歴代担当職員から聴取したが、現時点では状況不明。引き継ぎ、関係者から聞き取りを実施中。対応については警察と相談中。
合 計	約3,350万円		約2,320万円	約5,670万円	